

---

---

平成30年度  
事業計画書  
【総括版】

---

---

社会福祉法人 東北福祉会

1. 本部

目 標	<p>1. 改正社会福祉法に基づく法人運営と体制の強化。</p> <p>2. 経営戦略中期方針における取組み項目の着実な実践。</p> <p>3. 人が集まり、定着し、育つ組織づくりの実践。</p> <p>4. 法人内各拠点の連携強化と安定経営に必要な全体調整。</p> <p>5. 地域における公益的な取組等、法人事業の発信。</p>
重 点 項 目 と 主 な 内 容	<p><b>【制度に基づく取組み】</b></p> <p>1. 経営組織のガバナンス強化 内部管理体制の基本方針に基づき、①経営に関する管理体制づくり、②リスク管理に関する体制づくり、③コンプライアンスに関する管理体制づくり、④監査環境の整備づくりの強化。</p> <p>2. 事業運営の透明性の向上と財務規律の強化 上記（1）と連動しながら、経営分析力の向上、収支改善、予算管理の実践。</p> <p>3. 人財獲得の強化 人が集まる組織づくりとして、①実習生や各種研修生等の積極的な採用による人財確保、②職場体験事業、見学ツアー等により地域に潜在している人財の掘り起しを実践する。</p> <p>4. 人材育成・定着の強化 研修内容について、一部詰込み型研修から脱却し、楽しめる研修へ移行する。</p> <p>5. 人財評価の充実 人財評価制度の理解浸透を図り、目標管理、キャリアパスとの連動による適切な評価の仕組み・体系づくりを行う。</p> <p><b>【地域公益活動】</b></p> <p>5. 地域公益活動の見える化 法人の各拠点で実践をしている、公益的な取組み、地域の福祉ニーズに対応した取組みを地域住民等へ知っていただくための広報活動に力を入れる。</p>
<b>主な修繕・改修工事等、備品等購入の予定</b>	
予定なし	
<b>主な事業内容等</b>	
<p>1. 法人組織強化のための会議等 （1）理事会（年3回開催） （2）評議員会（年2回開催） （3）監事監査（年2回実施） （4）会計監査人監査（年3回実施） （5）内部監査委員監査（年1回実施）</p> <p>2. 重点項目の検討および実践の体制づくり （1）経営会議の開催（原則として毎月1回開催） （2）施設長会議の開催（原則として毎月1回開催） （3）総務部課長会議の開催（原則として2か月に1回開催） （4）事業系部長会議の開催（原則として2か月に1回開催） （5）人財獲得検討委員会の開催（随時） （6）人財育成・定着検討委員会の開催（随時） （7）人財評価検討委員会の開催（随時） （8）各担当者会議（総務担当者会議・セキュリティ対策担当者会議等）の開催（随時）</p> <p>3. 重点事項における主な取組み内容 （1）人財獲得に向けた取組み ①新規学卒を中心とした職員採用活動（年間） ②介護職員初任者研修の実施（夏季） ③介護職員実務者研修実施機関としての申請等準備（H31年1月指定認可予定） ④職場体験事業の実施 ⑤施設見学ツアーの実施 （2）人材育成における内部職員対象の各種研修等の実施 ①新任職員研修 ②新任職員フォローアップ研修 ③OJT研修 ④公開講座 （3）目標管理・人財評価・キャリアパスの連動による評価の仕組みづくり</p>	

## 2. せんだんの杜

<b>目 標</b>	<p>1) 利用者一人ひとりの生活支援に取り組み、子どもから高齢者までそれぞれ固有のかけがえのない“暮らしの継続”を実現する。</p> <p>2) 理念に向かい職員が一丸となり実践に励むことを通じて、在籍する職員やこれから共に働く福祉を担う人材が、働きがいややりがいを持ち、魅力を感じることでできる職場環境を作る。</p> <p>3) 共生社会づくりの拠点となるべく、現在の社会的ニーズに対応できるよう既存のサービスと福祉課題の検証を重ねると共に新たなサービス創設の検討を進める。</p> <p>4) 社会的要請に応えるべく、社会福祉法人としての事業運営を吟味すると共に経営的課題の解決をさらに計画的・具体的に進める。</p> <p>5) 行学一如の建学精神に基づき、東北福祉大学の実学実習生並びに専門職養成課程における実習生を中心にした育成に全力を尽くすと共に大学との更なる有機的連携の強化を図る。</p>			
<b>重 点 項 目 と 主 な 内 容</b>	<p><b>【制度に基づく取り組み】</b></p> <p>①子どもや高齢者などの各領域適した人として心とむ暮らしの環境作りと利用者一人ひとりの生活支援の充実を図る為、チームマネジメントを再構築する。</p> <p>②理念達成に関連する職員の意見や提案を具体化する取り組みをせんだんの杜全体で取り組み、利用者のために必要とされることを“考え”“行動する”ことができる職員や職場づくりに注力する。</p> <p>③①ならびに②によるサービスの質の向上と並行して、経営状況の推移を的確に把握し、早期に必要な対応を検討・導入する。</p> <p><b>【地域公益活動】</b></p> <p>①次世代に向けた効果的な福祉教育及び福祉・介護人材の発掘をするための実習やボランティアなどの効果的な受け入れ並びにニーズにマッチした求人活動等を通し、「参入促進」「人材確保」「次世代育成」などの人的資源に関する課題解決を具体的に進める。</p> <p>②社会的ニーズや非市場化的なニーズを見極め、地域住民や様々な社会資源と共にその課題を共有し、社会福祉法人に求められる社会的要請に応えるべく、地域公益事業並びに地域における公益的な取り組みの能動的・開拓的な事業展開を行う。</p>			
<b>主な修繕・改修工事等、備品等購入の予定</b>				
別紙「平成30年度当初予算書案におけるせんだんの杜設備整備工事等」 参照				
<b>事業別稼働目標と前年度実績の比較（※前年度実績は、平成30年1月末時点での利用率）</b>				
No	事業所名	定員 (人)	30年度目標 (%)	前年度実績 (%)
1	特別養護老人ホームリベラ荘（従来型）	36	98.3	95.9
2	同上（ユニット型）	18	96.0	93.7
3	ケアハウスフェリコ館	30	99.0	98.5
4	せんだんの杜短期入所生活介護事業所	16	93.6	73.5
5	せんだんの杜訪問介護事業所（障がい）	—	3,600（時間）	3,568（時間）
6	せんだんの杜国見ヶ丘通所介護事業所	10	休止	休止
7	せんだんの杜中山通所介護事業所（一般型）	10	80.0	45.0
8	せんだんの杜国見通所介護事業所	10	休止	休止
9	せんだんの杜居宅介護支援事業所	—	70（件）	58（件）
10	国見ヶ丘地域包括支援センター（予防）	—	295（件）	290（件）
11	杜の子ハウス（放課後等デイサービス）	10	93.0	92.6
12	遊杜家（放課後等デイサービス）	10	98.0	97.9
13	国見ヶ丘の家（放課後等デイサービス）	10	80.0	60.5
14	国見ヶ丘せんだんの杜保育園	99	105（名）	105（名）
15	国見ヶ丘せんだんの杜保育園分園	28	30（名）	30（名）
16	せんだんの杜地域子育て支援センター	—	400（件）	382（件）
17	せんだんの家（児童自立援助ホーム）	9	8（名）	7（名）
<b>備 考</b>	定員変更（H30.1.1より） リベラ荘（従来型）32人→36人、短期入所生活介護事業所20人→16人			

### 3. せんだんの杜ものう

目 標	1) 常に利用者から選ばれる事業所である為に、サービスの質向上及びホスピタリティの強化 2) 職員のスキルアップを支援できる環境を整備し、理論と実践を兼ね備えた人材育成の強化 3) 地域での暮らしの継続を支援する為の実践と、対話による地域住民との関係づくりの強化 4) 稼働率向上に向けた実践と、経常経費の見直しの両面による安定経営への取り組みの強化			
重 点 項 目 と 主 な 内 容	<p><b>【制度に基づく取り組み】</b></p> ①利用者・入居者のニーズを聴き取り、その思いや願いを実現する為の良質かつ適切なサービスの提供および、安心できる暮らしの場の提供に努める。 ②人材育成と実践力の強化および、サービスの質向上を図るため、日常の OJT と合わせて、Off-JT (内部研修・外部研修) の機会を計画的かつ弾力的に設けていく。 ③毎月の稼働率および収支状況について、分析・評価・検討を定期的に組織全体で行い、経営の安定化に向けた「見直しと改善」の実践に取り組む。 ④安定経営を目指し、社会情勢等の情報把握に努め、必要なサービス内容の見直しと、より高い介護給付費加算を算定する為の体制の見直しに努める。 <p><b>【地域公益活動】</b></p> ①地域包括支援センターおよび居宅介護支援事業所を中心として、地域ニーズの把握・関係性強化のために住民との「対話」する機会を設ける。 ②地域住民が相互に支え合える体制づくりの支援として、認知症カフェ・座談会・認知症サポーター養成講座・小中学校等での福祉に関する教育機会の確保等の実践や、現在提供している自主事業サービス他に、地域ニーズに応えるための新たなサービスの創設を検討していく。 ③東日本大震災の被災者の方が、新たな生活環境に適應できるように、これまで同様の支援を、関係機関・団体・行政等との連携強化とネットワークを有効活用して、適切且つ継続的に行っていく。 ④各事業所で開催している運営推進委員会を通して知り得た「地域の課題」に対して、地域と事業所が連携して取り組む機会を設けていく。			
<b>主な修繕・改修等工事等、備品等購入の予定</b>				
<b>事業別稼働目標と前年度実績の比較 (※前年度実績は、平成 30 年 1 月末時点での利用率)</b>				
No	事業所名	定員 (人)	30年度目標 (%)	前年度実績 (%)
1	特別養護老人ホームファミリオ	50	99.0	97.6
2	地域福祉センター通所介護事業所(月～金)	25	80.0	73.7
3	ものう通所介護事業所 (休止予定)	10		54.2
4	ものう短期入所生活介護事業所	15	100.0	100.7
5	ものう訪問介護事業所	—	660(時間)	550(時間)
6	ケアハウスフェリカ	15	99.5	99.1
7	なかつやま第一通所介護事業所 (月～日)	10	78.0	68.2
8	なかつやま認知症対応型共同生活介護事業所	9	99.0	90.1
9	うした通所介護事業所 (月～日)	10	80.0	81.2
10	うした認知症対応型共同生活介護事業所	9	99.0	98.1
11	ものう居宅介護支援事業所	—	126(件)	117.5(件)
12	石巻市ものう地域包括支援センター	—	130(件)	128.1(件)
13	石巻市桃生地区第一放課後児童クラブ	40	24(人)	15.7(人)
14	石巻市桃生地区第二放課後児童クラブ	50	50(人)	35.0(人)
備考	ものう通所介護事業所は H30.5.1 休止予定			

#### 4. せんだんの里

目 標	<p>1. 改正・介護保険制度に対応した施設運営を行い、より一層の安定経営を目指す。</p> <p>2. 魅力ある職場づくりを目指し、安定的な人財の確保・育成、定着を図る。</p> <p>3. 地域住民と連携したコミュニティを形成する中から生活ニーズを把握し、柔軟な地域支援体制の構築を目指す。</p>			
重 点 項 目 と 主 な 内 容	<p><b>【制度に基づく取り組み】</b></p> <p>1-① 社会福祉法、介護保険法等の基本理念の理解を深め、理念達成に向けた各サービス事業所における適切な経営マネジメントを行うとともに、利用者の生活支援を継続する。</p> <p>1-② 利用者・家族ひとり一人の心身状況やニーズをくみ取り、適切なケアマネジメントによる個別サービス計画に基づいた生活支援を提供する。</p> <p>2-① ストレスチェックの結果分析を活用した、職場環境の改善に努める。</p> <p>2-② 職員の専門性の向上と常に質の高いサービス提供を行うために、キャリア・パス・システムを有効活用して、人財育成をより効率的・効果的に実施する。</p> <p><b>【地域公益活動】</b></p> <p>3-① 近隣地域社会のニーズを具体的に把握し、せんだんの里がもつ多様な支援機能を社会資源として効果的に提供する。</p> <p>3-② 「認知症になっても安心して暮らせる地域づくり」について、せんだんの里の多様な専門職者が地域住民に必要な情報を継続して発信し、認知症の理解と認知症の人との生活を継続できるように努める。</p>			
主な修繕・改修等工事等、備品等購入の予定				
別紙「平成30年度当初予算案におけるせんだんの里設備整備工事等について」を参照のこと。				
事業別稼働目標と前年度実績の比較（※前年度実績は、平成30年1月末時点での利用率）				
No	事業所名	定員 (人)	30年度目標 (%)	前年度実績 (%)
1	せんだんの里特別養護老人ホーム (定員：9月まで150名→10月から160名)	160	97.0	97.9(～9月) 97.8(10月～)
2	せんだんの里ショートステイ (障がい福祉サービス空床利用型を含む) (定員：9月まで50名→10月から34名)	34	94.0	83.2(～9月) 93.1(10月～)
3	せんだんの里デイサービス ※(定員：月～土曜日 25名) ※(定員：日曜日 10名)	※	88.0 (月～土曜日) 80.0 (日曜日)	84.0 (月～土曜日) 86.2 (日曜日)
4	せんだんの里国見ヶ丘3丁目デイサービス	10	80.0	73.7
5	せんだんの里グループホーム	27	98.0	99.1
6	せんだんの里国見ヶ丘3丁目グループホーム	9	98.0	100.0
7	せんだんの里居宅介護支援事業所 (介護予防支援受託分を含む)	—	120.0(件)	117.6(件)
備 考				

## 5. せんだんの館

目 標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用者のニーズに応じたサービス調整および関係機関との連携による新規利用者の獲得、入居申込者等への継続的なアプローチにより稼働率の維持・向上を図る。</li> <li>2. 長期的な安定経営を目標に、月間・年間の収支把握と分析を行いながら、コスト管理、増収を図る。</li> <li>3. 「利用者主体」の基本方針に基づく人財育成とサービスの質向上を図ると共に、職員がやりがいをもてる「魅力ある職場づくり」を行う。</li> <li>4. 近隣住民および関係機関との連携により、新たな地域サービスの開発・提供を行う。</li> </ol>			
重 点 項 目 と 主 な 内 容	<p>【制度に基づく取り組み】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域包括支援センター、居宅介護支援事業所をはじめとする近隣の関係機関との地域包括ケアシステム構築に関わり、新規利用ニーズの把握ならびに確保・サービス提供につなげていく。</li> <li>2. 新規入居者調整に伴う空床期間の短縮、入院者等の状況把握、空床を活用したショートステイの実施などにより、稼働率の維持・向上を目指す。</li> <li>3. 居宅介護支援事業所を整備し、新たなニーズの把握と対応を実施するとともに、地域包括支援センター等関係機関との連携を図る。</li> <li>4. 毎月の収支把握と分析を各部署と協働で行い、コスト削減に取り組む。</li> <li>5. 目標管理制度を基盤とした日常的な職場内教育と計画的な研修会・学習会を開催し、職員の価値観・倫理観・知識・技術の向上を目指した人財育成・人財定着に取り組む。</li> </ol> <p>【地域公益活動】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 近隣住民および関係機関との協働による「認知症カフェ」の開催を通じ、認知症の方と家族への居場所づくりを行うとともに、認知症の理解に関する普及・啓発、マンパワーの育成に取り組む。</li> <li>2. 「地域連携を考えるワーキング」の活動により、新規事業の開拓、住民参加型の企画運営、広報誌の発行、各専門職の講師派遣を行う。</li> <li>3. 地域サークル活動や近隣町内会の防災協定などを基に、住民主体による活動への側面的支援を行う。</li> <li>4. 多様な実習やボランティア受入れ、職場体験事業の実施、地域への講師派遣、地域サークル活動支援などにより、地域福祉の充実に寄与し、人財確保につなげる。</li> <li>5. ホームページの活用を積極的に行うことで、地域へ向けた事業内容の紹介や情報提供を行い、透明性のある事業運営につなげる。</li> </ol>			
<b>主な修繕・改修等工事等、備品等購入の予定</b>				
別紙「平成30年度当初予算案におけるせんだんの館車両購入」参照				
<b>事業別稼働目標と前年度実績の比較（※前年度実績は、平成30年1月末時点での利用率）</b>				
No	事業所名	定員 (人)	30年度目標 (%)	前年度実績 (%)
1	特別養護老人ホームせんだんの館	100	98.4	98.2
2	せんだんの館ショートステイ	20	90.0	88.5
3	せんだんの館デイサービス	40	82.3	78.3
備 考	平成30年度内に居宅介護支援事業所開設予定			

6. 認知症介護研究・研修仙台センター

<b>目 標</b>	東北福祉大学を母体とする関連研究施設及び関連福祉施設等との有機的連携を深めながら、 1. 研究事業、2. 研修事業、3. 運営事業費補助金による事業、4. その他事業を実施する。			
<b>重 点 項 目 と 主 な 内 容</b>	<p><b>【制度に基づく取り組み】</b></p> <p>1. 研究事業                      研究事業補助金等による研究事業                      (1) 研究調査                      老人保健健康増進等事業／運営事業費における研究事業                      (2) 研究の取り組み                      研究事業の倫理的観点からの検討（倫理審査委員会）／研究資料の収集・整理／研究成果の報告／三センター研究成果発表会の開催                      (3) 研究成果の広報                      DCnet 等による認知症啓発活動</p> <p>2. 研修事業                      都道府県等の研修委託費等による研修事業                      (1) 認知症介護指導者養成研修の実施                      第1回：6月4日～8月3日 / 第2回：8月27日～10月26日                      (2) フォローアップ研修の実施                      第1回：11月12日～11月16日 / 第2回：12月10日～12月14日</p> <p>3. 運営事業                      運営事業補助金による事業                      (1) センター運営委員会・外部評価委員会の開催                      (2) 認知症介護研究・研修センター全国運営協議会への出席                      (3) 三センター合同会議への出席                      (4) 認知症介護セミナーの開催                      (5) 地域住民を対象とした健康講座の開催</p> <p>4. その他事業                      (1) 認知症介護基礎研修 e ラーニング運用事業                      (2) 「認知症介護の基礎」研修事業</p> <p><b>【地域公益活動】</b></p> <p>1. 認知症カフェの企画・運営（毎月第1土曜日）                      2. 宮城県・仙台市・関係団体との連携による認知症啓発活動</p>			
<b>主な修繕・改修等工事、備品等購入の予定</b>				
予定なし。				
<b>研修別目標と前年度実績の比較</b>				
No	研 修 名	定員 (人)	30年度目標 (人)	前年度実績 (人)
1	第1回認知症介護指導者養成研修	20	19	21
	第2回認知症介護指導者養成研修	20	19	16
2	第1回フォローアップ研修	20	17	14
	第2回フォローアップ研修	20	17	13